

「マルチメディアデージー教科書」提供・申請に関するQ & A

Q 1 どのような児童生徒が使用できますか？

通常の紙の教科書では読むことが困難な児童生徒が使用することができ、医師の診断は必ずしも必要ではありません。利用申請時に「読み」等に困難があることを申告する必要があります。

Q 2 使用する時には、申請が必要ですか？

保護者の申請が必要です。



申請先：公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会

U R L：<https://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/book/daisytext.html>

Q 3 どのような手続きが必要ですか？

①「マルチメディアデージー教科書」のホームページ内にある申請フォームから、「申請者姓名」「メールアドレス」「パスワード」を入力する。

↓

②登録したメールアドレスに届いたメールからログインする。

↓

③ログイン後、申請希望のデージー教科書や児童生徒情報、提供方法等を入力する。

Q 4 どのような仕様となっていますか？

「マルチメディアデージー教科書」には、ブラウザ版とアプリケーション版があります。申請後の使用については、参考資料を御参照ください。

Q 5 「マルチメディアデージー教科書」の他にどのような音声教材がありますか？

音声教材は、文部科学省が委託した6団体から無償提供されています。詳細は、資料を御参照ください。資料は、文部科学省からの通知を一部抜粋したものとなります。全ての通知につきましては、令和5年6月7日に全校にメールで送付しておりますので、必要に応じて御活用ください。

児童生徒の「マルチメディアデイジー教科書」の使用について

1 ブラウザ版（オンライン版）について

児童生徒に貸与しているタブレットにおいても、「マルチメディアデイジー教科書」の「ブラウザ版」を使用することが可能です。

- (1)「マルチメディアデイジー教科書提供システム」のログイン画面(<https://mpf.jsrpd.jp/>)にアクセスする。



- (2) 事前に申請し、日本障害者リハビリテーション協会より付与された「ログイン名」と「パスワード」を入力し、ログインする。



2 アプリケーション版について

端末の設定により、現在児童生徒に貸与しているタブレットでは、「マルチメディアデイジー教科書」の再生用アプリを個別にダウンロードして使用することはできません。合理的配慮の観点から、再生用アプリをダウンロードした家庭の端末の持ち込みを、学校が許可することは可能です。なお、学校のネットワークに接続することは本市の教育情報セキュリティポリシーにより認められないため、御留意ください。

音声教材について

音声教材とは

音声教材とは、発達障害等により、通常の検定教科書では一般的に使用される文字や図形等を認識することが困難な児童生徒に向けた教材で、パソコンやタブレット等の端末を活用して、教科書の内容を音声で読み上げる等の機能を持つ。「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律」（教科書バリアフリー法）に基づき、教科書発行者から提供を受けた教科書デジタルデータを活用して製作している。文部科学省は、以下の団体に調査研究を委託しており、その成果物である音声教材を読みにくい児童生徒に無償提供している。

音声教材製作団体の概要

マルチメディアデージー教科書 (公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会)
<https://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/book/daisytext.html>

- 主な特徴: 専用のアプリケーションまたは端末のブラウザ機能(オンライン)で使用する。音声、本文等テキスト、挿絵等の図版を含む。ハイライト機能、ルビ表示機能等あり。音声は肉声及び合成音声。視覚と聴覚から同時に情報が入り内容理解がしやすい。小学校・中学校の教科書を中心に作成。
- Windows, iOS, Android, Chromeで使用可能。
- 利用者実績: 19,588人(令和4年度)



ペンでタッチすると読める音声付教科書 (茨城大学)
<http://apricot.cis.ibaraki.ac.jp/textbook/>

- 主な特徴: パソコンやタブレット等のICT端末は使わず、紙冊子と音声ペンで使用する。紙冊子は通常の教科書と見た目がほぼ同じで、鉛筆等で書き込み可能。持ち運びやすく、小学校低学年でも簡単に一人で操作できる。音声ペンで文字をタッチして読むことで意識が紙面に向き、能動的な読書になる。音声は肉声。小学校・中学校の国語・社会の教科書を中心に作成。
- 利用者実績: 834人(令和4年度)



AccessReading (東京大学先端科学技術研究センター)
<https://accessreading.org/>

- 主な特徴: Microsoft Wordや電子書籍リーダーのアクセシビリティ機能を使用する。本文等テキスト、挿絵等の図版を含む。読み上げは合成音声。文字の大きさ、色の変更、ハイライト機能など、アプリの機能で様々な調整が可能。小学校高学年・中学校・高校の教科書を対象。
- Microsoft Wordまたは電子書籍リーダーが使用できるOSで使用可能。
- 利用者実績: 213人(令和4年度)



UD-Book (広島大学)
<https://home.hiroshima-u.ac.jp/ujima/onsei/index.html>

- 主な特徴: 専用のアプリケーションまたは端末のブラウザ機能(オンライン)で使用する。固定表示(原本教科書に似せた表示)・行移表示(文字だけの表示)の両方で、テキストを合成音声で読み上げる。固定表示・行移表示を同時に表示することや、固定表示では見開き表示をすることが可能。ハイライト機能、ルビ表示機能等あり。小学校・中学校・高等学校の教科書を対象。
- Windows, iOS, macOS, Chromeで使用可能。
- 利用者実績: 215人(令和4年度)



音声教材BEAM (NPO法人エッジ)
<https://www.npo-edge.jp/use-edge/beam/>

- 主な特徴: 音声のみの教材(テキストや挿絵等の図版はなし)。MP3を再生できる全ての機器(パソコンやタブレット、スマートフォン、ICレコーダー等)で使用可能。音声は、肉声に近い合成音声。データ容量が軽く、操作が簡便で、耳からの情報に集中できる。小学校・中学校の国語・社会、中学校の理科、高等学校の国語・社会を中心に作成。
- 利用者実績: 187人(令和4年度)



UNLOCK (愛媛大学)
<http://treasure.ed.ehime-u.ac.jp/unlock/index.html>

- 主な特徴: パソコン・タブレット端末か音声ペンでの利用を選択可能。音声ペンの場合、紙の教科書に再生用シールを貼って使用する。パソコン・タブレット端末の場合、音声データ(MP3)とテキストのPDF・EPUBを提供。音声は合成音声。児童生徒の障害特性や状態によっては、音声の種類(男女の声質・話し方)・再生速度の選択を相談可能。小学校・中学校・高等学校の教科書を対象。
- 利用者実績: 83人(令和4年度)

